

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	鎮静薬静注を必要とした緊急血管内血行再建例の特徴
研究責任者	神経内科 齋藤拓也
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2025年2月28日
対象者	2019年1月1日から2022年12月31日までに聖隷浜松病院科に入院した脳梗塞患者さん
研究の意義・目的	鎮静薬静注を必要とするほどの不穏を生じる緊急血管内血行再建例の特徴がわかれば、治療前の予測が可能となり、緊急血管内血行再建を円滑かつ安全に施行することに寄与します。本研究の目的は、脳梗塞患者について、鎮静薬静注を必要とした緊急血管内血行再建例の特徴を検討することです。
研究の方法	後ろ向き観察研究。2019年1月1日から2022年12月31日までに当院に入院した脳梗塞患者さんのうち、頭頸部緊急血管内血行再建を施行した患者さんについて、診療記録から患者背景因子(年齢、性別、既往歴、身長、体重)、来院時身体所見、画像所見、治療内容、時間因子(発症-来院時間、来院-治療開始時間)を抽出します。緊急血管内血行再建中の鎮静薬静注の有無で対象患者を2群に分類し、診療記録から抽出した因子について、単変量解析、多変量解析を行います。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 神経内科 齋藤拓也 TEL:053-474-2222(代表) 神経内科外来 9:00~17:00 平日